

◆ふるさとに学び 誇りと夢をもち
心あたたかく たくましい 小代っ子の育成◆

スポーツフェスティバル21 → 体育発表会に



表現運動「ツバメ～ともに～」(1～3年生)

朝晩の冷え込みが強まり、小代の郷にも朝霧が見られる頃となりました。

第22回目となるスポーツフェスティバル21が中止となりました。今年もコロナ禍での開催予定となり、小学校でも直前まで感染者の推移と練習状況・計画と照らしながら検討し、実行委員会との連絡・協議を重ねてきました。

積み上げてきた数々のパート練習を最後まで完成させ、全演技を保護者の皆様に披露したいとの思いから厳しい結果となりました。学級からは、落胆することを心配した予想とは異なり「大丈夫！」という声上がり、当日に向けての期待が持てた、という通信の記事を見て胸が熱くなりました。

小学校では、予備日として設定していた「体育発表会」を21日(水)から29日(木)に延期しての開催としました。学校のみの実施となり、保護者・地域の皆様には大変ご迷惑をお掛けしましたが、ご理解・ご協力いただきましたことに厚く感謝申し上げます。そして、直前まで準備を進めていただきました実行委員、事務局の皆様には大変お世話になりました。



「小代っ子太鼓」(4～6年生)

かわいくしなやかな動きで魅了した低学年(1～3年)のダンス、力強い表現で当日に一番決まった高学年の竹太鼓、各係で熱心に動いた高学年の自覚等、どの顔もキラキラ輝き最高の舞台とすることができました。応援等演技以外でも手を取り、声を掛けしながら完全燃焼した表情が見られました。

保護者の皆様には、事前からのご理解と温かいご声援に感謝いたします。スポーツフェスティバル21実行委員会より、お菓子と消しゴムの参加賞をいただきました。本当にありがとうございました。

後期児童会役員選挙

9月28日(水)に後期児童会役員選挙が行われました。始めに当たり、年々立派な児童会組織となっていることを話し、先輩の足跡がしっかりつながっていることを伝えました。6名の立候補者が、ポスターに掲げていた公約について、気持ちを込めて熱弁しました。

こんな学校に・・・大人になってもやらなければならない挨拶のできる、笑顔があふれ楽しい、明るく優しいチームワークのある（協力、仲間を大切に）
こんな方法で・・・自分から進んで挨拶、元気に楽しく遊ぶ、絆プロジェクトを継続（クイズ、鬼ごっこ）＊絆プロジェクト（一昨年より始まったワクワク縦割り活動）

会 長 中庭 海桜さん(6年) 副会長 上 治 翔さん(6年)
副会長 穴田 楓空さん(5年) 書 記 井上 拓斗さん(5年)

立候補・投票した各々が、次なるめあてに向かい、それぞれの立場で前向きに頑張ることを望んでいます。

◆今年の小代っ子の傾向は？◆ 全国学力・学習状況調査の結果より

4月に6年生を対象に実施された「全国学力・学習状況調査」の結果ができましたのでお知らせします。本校では、全国・県平均と比べ国語、算数において「同程度」という結果でした。

国語では、「言語の特徴や使い方に関する事項、我が国の言語文化に関する事項」は、全国平均を上回っていましたが、「話すこと・聞くこと、書くこと、読むこと」が同程度でした。物語の全体像を具体的に想像したり、表現効果を考えたりすることで、目的や意図に応じて自分の考えを伝えるように書き表すことに課題が見られています。

算数では、割合等数量の「変化と関係」が全国平均を上回っていましたが、「数と計算」「データの活用」は同程度、「図形」は全国平均よりやや下回っていました。学習したことを日常につなげたり生かしたりすること、図形の構成の仕方について考え記述できる等の問題に課題が見られています。

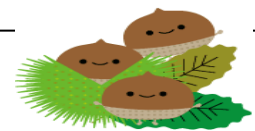
理科では、「エネルギー」が全国平均を大きく上回り、水蒸気等に関する「粒子」については、やや下回っていました。「情報や実験結果を分析し、自分の考えを持つこと」について課題が見られます。現象は理解しても用語を正確に覚えたり使ったりすること、自分で発想した予想と実験結果を基に、複数の視点で分析して解釈するような問題に課題が見られています。

質問紙では、朝食・就寝・起床等は身につけています。「人に役立つ人間になりたい」「人が困っているときは、進んで助けている」は平均を上回り、「授業でICT機器を使用した回数や友達と意見交換した回数」「将来の夢や目標を持っている」については、自己評価が低く平均も下回っている状況が見られます。

今後は、読み書きや計算の基礎学力の定着を図りつつ、国語科を中心に書くことで考えをまとめ、自分の考えとの違い等を説明する力を伸ばす研修を進めます。個・ペア・グループでの形態やICT機器を活用した学習場面を工夫し、分かったこと（何ができるようになり、どこまで分かったか）を明確にし、主体的な関わりを持った「授業づくり」を進めます。

読書に親しむ環境づくり、家庭学習の習慣づけ（家庭学習の手引きの活用等）において、家庭や中学校との情報交流を図り、連携ある取り組みを進めます。今後も引き続きご支援ご協力をよろしくお願いいたします。

お知らせ◆地元出身の方より寄付◆



本校（当時小北小学校）出身者の上治義和様が、小代中学校・小学校へ寄付金を提供していただきました。現在、大阪にて会社を運営されており、小代の子どものたちの学校生活を応援して下さっております。早速、跳び箱で使用する道具やAED設置ボックス等の学校備品を選定し、有効に活用させていただいております。今後のご活躍をお祈りいたしますと共に、厚く御礼申し上げます。ありがとうございました。

【お知らせ】本便りをHPにもあげていますので、ぜひご覧ください。

HPアドレス <http://ojiro-es.kami-hyogo.ed.jp/>

※ 学校へのご意見・ご要望があれば、お知らせください。☎ 97-2004

